

住民自治協議会だより

第13号

発行：小田切地区住民自治協議会 TEL 026-229-1511

27年度事業計画・予算決まる

4月24日住自協総会が開催された。

今年度のテーマは、「『小田切を元気に』を合言葉に、地区の特性を生かし、課題に柔軟に対応した活動を展開する。」として新規及び主なる事業は右の通りです。



総務・安全部会

- ・緊急無線機の配備と各区での災害緊急連絡体制の確立
- ・富士の塔登山道の整備
- ・地域おこし協力隊との協働

福祉・健康部会

- ・第二次小田切地区地域福祉計画の策定
- ・地域福祉大会の開催
- ・福祉委員研修の充実
- ・サロン事業の充実

教育・文化部会

- ・万歳学級やふるさと学級による生涯学習
- ・明るく心豊かな人権啓発活動の推進
- ・文化財の保存、継承活動の支援

環境・地域活性化部会

- ・農作物の有害鳥獣対策
- ・遊休農地の活用対策

一般会計 収入の部 (千円単位に省略)

		対前年比
交付金	5,316,000	1,757,000
補助金	1,324,000	△1,146,000
負担金	1,393,000	189,000
雑収入他	328,000	163,000
繰越金	2,119,000	1,367,000
合計	10,480,000	2,330,000

・事業実施による別途補助金

やまざと支援	1,800,000
やる気支援事業	700,000
福祉事業	300,000
福祉自動車買い替	3,000,000
合計	5,800,000

27年度一般会計と別途補助金の合計収入額 16,539,000円になります。

一般会計 支出の部 (千円単位に省略)

		対前年比
総務・安全部会	865,000	390,000
福祉・健康部会	2,624,000	436,000
環境・地域活性	212,000	20,000
教育・文化部会	1,696,000	215,000
事務局費	3,493,000	45,000
配分・繰出し	1,166,000	763,000
予備費	292,000	189,000
積立金	0	△60,000
返納金	132,000	132,000
合計	10,480,000	2,330,000

福祉自動車特別会計より福祉自動車基金へ 350,000円積立します。

7年に一度の善光寺御開帳

5月3日（日）門前町大縁日、地域の日以小田切地区の皆さん11人、小田切オアシスで農産物を中央通りもんぜんぷら座前に出前店を開設した。

当日の善光寺回向柱前の参拝者は50分待ちの行列を作り、中央通りは歩行者天国となりセントラルスクエア広場、TOIGO前、中央通りなどで大道芸が繰り広げられ、気温28度の快晴の中大盛況の一日となり人、人、人であふれた。



小田切店の一日の総売り上げは、85,950円になった。

売れ残った物もあったが、山菜類は完売した。中でも、こけ玉、ミニ木工工芸品は午前中に売り切れとなる人気商品となった。

福祉自動車新車代替される

福祉自動車運行事業が始まったのは12年前の平成15年。「ふれあい号」は、それ以来2,137日2,450人（5月20日現在）の地区の皆さんを病院に送迎してきた。

車も故障しがちになり、長野市より300万円の補助金を受け、5月25日に今までと同型の新車が納入された。

通院にお困りの方はご相談下さい。



地域おこし協力隊 2名配置決定

長野市は総務省の施策の過疎・高齢化・担い手不足等々の諸問題に対処するため、中山間地の希望する地域に対し、地域おこし協力隊の配置をすすめて来た。

長野市職員として3年間地区に派遣され、将来的には定住を目指すものです。

27年度、小田切地区も2名の配置を希望したところ4名の応募があり、男女各1名の採用が決定した。

6月1日に着任し本庁で2週間程の研修を経て、その後小田切に入ります。

地域活性化のために張り切っています。地区の皆さんの御協力もお願いします。

27年度 やる気支援事業応募

昨年は長野県南木曾町、広島市の土砂災害等台風の大雨による災害が頻発した。

11月22日には死亡者こそ発生しなかったが神城断層地震による長野県北部に多くの被害が発生した。12月には大雪により停電と携帯電話を含む通信網に支障が発生した。

小田切地区は全ての集落が山、谷の合間に点在し、道路の損壊・通信も遮断され孤立地区の発生も懸念される。これらの事情を念頭に非常通信網の構築をめざし、27年度長野市やる気支援事業に応募した。

応募に先立ち、11月13日に小田切地区内21地点の通信実験をした結果、3カ所不通地区が存在した。しかし、これらの地区も支所からは不通でも近隣の無線機を介して通話可能で予想外の好結果が得られた。

事業計画は採択され一次事業として、97万円余の予算で無線機12台を購入し各区に配備し、各区は防災対応網の確立をめざします。

やる気支援事業補助金で70万円を受け、残りは住自協負担となります。

神城断層地震(弱)の小田切地区被害調査

小田切住自協では、昨年11月22日夜間に発生した地震の全戸被害調査をしました。

回収率は54.8%でした。

以下調査の結果です。(紙面の都合で詳細は省きますが、詳しいことは住自協まで。)

	深沢	吉窪	下宮	上宮	上山	下山	千木	国見	中組	地蔵	裾花	合計
調査票配布	42	46	25	35	15	23	16	39	22	62	98	423
回答数	11	13	9	28	11	19	17	12	16	21	75	232
住宅・物置	33	31	2	33	28	17	14	33	33	15	33	272
水道管	3				1	2	2					6
墓石等損壊		2	3	2	7	7	7	5	1			31
石垣等損壊		1		1	1	1	1	2		4	4	15
地区公民館		1		1								2
道路関係		3		1						8		4
空き家(外観)		1										1



被害の小鍋地区 羽黒神社

大雪被害

昨年12月16日から降り始めた雪は18日～19日小田切地区内に大きな雪害をおこした。

深沢地区の県道沿い、吉窪地区の市道沿いの立木の倒木は凄まじかった。

樹齢30～40年の大木が幹の途中から切断される程、想像を遥かに超えるエネルギーが働いた。

国見地区では2昼夜に及び停電し、給湯器が凍結破損し、極寒の中暖房器も使えず、又携帯電話も不通となり生活に大きな負担が生じた。

小田切支所は交流広場に臨時避難所を開設した。

募集

「住民自治協議会だより」の表題の部分のデザインを募集します。

明るく(ゆるキャラ入り可)親しみ易いデザインを考えて下さい。
採用された作品、応募された人に薄謝を申し上げます。



4月に小田切支所に着任いたしました保健師の丸山みどりです。

よろしくお願いします。

趣味は運動。特に走ることやバスケットボールをすることが好きです。

保健師として、様々な人と出会う中で日々勉強させていただいています。前任の藤木保健師同様、明るく、楽しく、元気いっぱい地区内を駆けまわりたいと思います。そして、小田切の季節の移り変わりをカラダで感じながら、小田切地区の皆さんと一緒に健康について考えていきたいです。

さて、5月にご家庭に「各種検診のご案内」を配布しました。6月1日から各種健診（検診）が始まります。車も安全に走行するためには点検が必要であると同様、人も日々安心して生活するためにカラダの点検が必要です。自覚症状が出ないカラダの中の様子を確認する良い機会です。（すでにかかりつけ医がいる場合は、相談しながら受けていただくことが良いと思います。）

ぜひ、1年に1度自分のカラダと向き合う時間を作ってみませんか。また健診終了後には、結果を振り返りましょう。

喜寿祝賀会開催しました

平成27年3月4日（水）福祉委員会主催の喜寿祝賀会を稲荷山温泉杏泉閣で開催した。

今年の該当者は18名。その内12名が出席されました。

代表で竹内さんが「荒廃農地にしない為にも、畑仕事は体の続く限りやりたい。一日一日を大切にしたい」と頼もしいご挨拶がありました。お食事と懐かしい人たちとの会話が出来、楽しい時間を過ごしていただきました。

皆さんこれからもお元気で！



人事往来

(転入)

(転出)

小田切支所関係

支所長補佐 小林 昭弘 (男女共同参画推進課長補佐)
主 査 平林 洋一 (東北支所)
保 健 師 丸山みどり (西部保健センター)

支所長補佐 夏目 英俊 (廃棄物対策課推進課長補佐)
主 査 小林 昭雄 (教育委員会総務課)
保 健 師 藤木こずえ (西部保健センター)
庁 務 酒井 宣雄 (退職)

小田切公民館関係

係 長 友田 一則 (川中島支所係長)
職 員 細尾 裕子 (新任)

係 長 山口 敦 (建設部監理課係長)
職 員 原山 希子 (退職)

小田切住自協関係

人権教育促進協議会長 塩入 徳男 (新任)
事務局次長 活性化推進員兼務
酒井 宣雄 (新任)
老人クラブ会長 酒井 光男 (新任)

人権同和教育促進協議会長 海沼 一夫 (辞任)
(退任) 塩入 盛登